

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル東工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	特記仕様書29-5-3 ずり処理工 トンネル掘削ずりを本線盛土材として使用するための小割、破砕等の粒度調整に必要な費用は含まれているのでしょうか。	トンネル掘削ずりを盛土材として使用するための小割、破砕等の粒度調整に必要な費用は含まれております。
2	数量明細書(3/10)、設計図(トンネル工) 30, 31, 63~83/88 10/7付の質疑回答(番号5)にて鉄筋A(T)の数量について、設計成果品REPORT11の34-4 本坑補強鉄筋数量集計表内訳の対象延長を見ますと、『DⅢa(H)-2-B』は『42m』と『7m』、『DⅢa(H)-3-B』は『73.5m』と『1.5m』で分けられています。 しかしながら、設計図(トンネル)の30/88の右下『位置図』と31/88の右下『位置図』を見ますと、『DⅢa(H)-2-B』の8.5m分が『端部』、『DⅢa(H)-2-B』のそれ以外の部分と『DⅢa(H)-3-B』のすべての延長が『標準部』として分けられているように図示されています。 よって設計成果品REPORT11の34-4 本坑補強鉄筋数量集計表内訳の対象延長は『DⅢa(H)-2-B』は『8.5m』と『40.5m』(42-8.5)となりませんかでしょうか。 また、同ページの『DⅢa(H)-3-B』のアーチ部、インバート部それぞれの10.5m当り単位重量は2571kg、1680kgとなっておりますが、設計図(トンネル) 30/88の鉄筋材料表では2555kg、1690kgとあります。 どちらが正なのでしょうか。	設計図が正となります。

番号	質問事項	回答
3	<p>10/7付の質疑回答(番号5) 10/7付の質疑回答(番号5)にて『鉄筋材料表をL=8.5m当りに訂正します。』とご回答いただき、その結果アーチ部の8.5m当り単位数はそれぞれ『D19は2073kg、D16は942kgとなります。』とご提示いただきましたが、設計図31/88の鉄筋材料表アーチ部のD16の数値971kgは誤りということでしょうか。 また、インバート部に関しても8.5m当り単位数は、それぞれD19は1371kg、D16は492kgとなる認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>10月9日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>
4	<p>10/7付の質疑回答(番号9) 10/7付の質疑回答(番号9)にて『ロックボルトB(L=3.0m)の数量は7,508本が正』とのことですが、これは設計成果品REPORT11 33-2と同数値となっております。 設計成果品では『CⅡ-b(H)-2-B』の箱抜工増減が『42本』と記載されております。 しかしながら公告図面(トンネル)の『非常用施設割付図』(62/88)を参照しますと、『CⅡ-b(H)-2-B』は『通話型通報設備』が2箇所、『消火栓』が5箇所、『消火栓B(給水栓一体型)』が2箇所、『誘導表示板』が5箇所、『ELB盤』が2箇所との表記がございます。 さらに、それぞれの施設でのロックボルト使用本数は『通話型通報設備』が2本(図面64/88)、『消火栓』が4+5=9本(図面66/88)、『消火栓B(給水栓一体型)』が4+5=9本(図面66/88)、『誘導表示板』が6本(図面72/88)、『ELB盤』が2本(図面80/88)となっております。 以上より、『CⅡ-b(H)-2-B』の非常用施設で使用されるロックボルト本数は『通話型通報設備』で2×2=4本、『消火栓』で5×9=45本、『消火栓B(給水栓一体型)』で2×9=18本、『誘導表示板』で1×6=6本、『ELB盤』で2×2=4本となり、合計4+45+18+6+4=77本となると思われませんが、図面の数量と明細表の数量はどちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>CⅡ-b(H)-2-Bの再打設ボルトは、地山パターンCⅡとなることからロックボルト再打設は考慮しません。 したがって、箱抜増減42本、数量7,508本が正となります。</p>

番号	質問事項	回答
5	<p>特記仕様書17-1(5)、特記仕様書29-2-1、特記仕様書29-2-4 特記仕様書17-1(5)において『現場発生材が本特記仕様書17-1の関係各項に示された試験を行った結果、同項目の規定に適合する場合、受注者は監督員の指示に従いその材料を使用するものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。』と記載されております。 一方、捨土掘削 土砂A2・土砂A3、構造物掘削 普通部Aについては特記仕様書29-2-1・29-2-4において『新得地区ずり置場への運搬、敷均し』と記載がございます。 現地発生材は『新得有地盛土場』に一度運び出し、流用する場合は再度『新得有地盛土場』から運搬すると考えてよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>新得町有地盛土場からの流用は想定しておりません。</p>
6	<p>数量明細表(5/10)、公告図面(参考図)7/17、公告図面(トンネル)32/88・33/88 吹付けコンクリートA5(t=25cm)について、数量明細表(5/10)で『26.1m²』と表示されております。 しかしながら、『CI-K-S2』と『CII-K-S2』は吹付けコンクリート単位数量が『10.911m²/m』(公告図面(参考図)7/17)、延長が『1.02m』(公告図面(トンネル)32/88・33/88)と読み取れます。 よって数量は22.3m²/m(10.911*1.02*2=22.225844≒22.3)であると考えられますが、図面の数量と明細表の数量はどちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>数量明細表はI期線擦り付け部の吹付け数量を考慮した数量となっております。</p>
7	<p>数量明細表(5/10)、公告図面(参考図)7/17、公告図面(トンネル)32/88・33/88 吹付けコンクリートB(t=5cm)について、数量明細表(5/10)で『436.3m³』と表示されております。 しかしながら、『CI-B-S』『CII-B-S』『CI-K-S1』『CII-K-S1』は吹付けコンクリート単位数量が『10.911m²/m』(公告図面(参考図)7/17)、延長が『CI-B-S』は『6.59m』、『CII-B-S』は『6.722m』、『CI-K-S1』は『8.98m』、『CII-K-S1』は『8.98m』(公告図面(トンネル)32/88・33/88)と読み取れます。 よって数量は341.2m²/m(10.911*(6.722+6.59+8.98+8.98)=341.208792)であると考えられますが、図面の数量と明細表の数量はどちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>数量の算出が誤っており、正しくは406.6m²となります。後日訂正致します。</p>

番号	質問事項	回答
8	<p>参考図 9/17 工事工程表 令和5年度の土木工事積算基準より支保工建込みの時間は「30分」ではなく「20分」に改定されておりますが、本工事の支保工建込み時間を見込む断面のサイクルタイムは、支保工建込みの時間が「30分」で考慮された月当り進行長と思われます。 令和6年度の支保工建込み時間は採用されていないと理解すればよろしいのでしょうか、また参考図に記載頂いている「月当り進行長」に間違いはありませんでしょうか。</p>	<p>令和6年度版土木工事積算基準の支保工建込時間20分が正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>
9	<p>鏡吹付コンクリートについて DⅢa(H)-3-B断面ではトンネル掘削で1.0mごとに5cm、補助工法で9.0mごとに10cmの鏡吹付けがそれぞれあり、補助工法の鏡吹付け時に5cmと10cmが重複する箇所がございます。 この場合の鏡吹付けコンクリートの計上方法について下記条件のどれに当てはまるかご教示願います。 ①二重で鏡吹付けを行い、計15cm分(2回)の鏡吹付けを計上 ②5cmの吹付けは計上せずに、10cm(1回)を打設工Aにて鏡吹付けを計上 ③5cmの鏡吹付けをし、10cmのうち5cm分の鏡吹付けを打設工Aで計上し、計10cm(2回)の鏡吹付けとして計上 ④その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
10	<p>インバート埋戻しについて インバート埋戻しの材料は購入土と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
11	<p>中央排水工Bについて 詳細図が2種類ありますが、材料表が1種類分しかありません。 詳細図は異なるが、同じ数量のものと理解し見積りを行えばよろしいのでしょうか。 詳細図通り2パターンにて計上されている場合は2パターンの材料表を公表して頂きそれぞれの対応土質も記載願います。</p>	<p>設計図を後日訂正致します。</p>
12	<p>トンネル掘削『割岩工法』を用いる区間ですが、特許料をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
13	<p>コンクリートの冬期割増は見込まれているのでしょうか。 見込まれている場合、冬期割増に該当するコンクリート量をご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>

番号	質問事項	回 答
14	<p>鏡吹付コンクリートの取壊し殻運搬について 鏡吹付けコンクリート殻の分別は、坑外ずり積替場にて行うと記載がございますが切羽から坑外ずり積替場までの運搬費用はどの項目にて計上頂いているのでしょうか、トンネル掘削ずりに数量を加えて見積りを行うものと理解すればよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書29-5-3ずり処理工に記載のとおりです。</p>
15	<p>9/10付の質疑回答(番号11) 鏡吹付コンクリートの取壊しについて 鏡吹付けコンクリートの取壊し費用は、トンネル掘削工に含まれると回答を頂いておりますが、計上方法について下記のどれに当てはまるかご教示願います。 ①トンネル掘削量に鏡吹付けコンクリート量分を加えて、トンネル掘削歩掛にて計上 ②トンネル掘削とは別に鏡吹付けコンクリートの機械取壊しを計上 ③トンネル掘削とは別に鏡吹付けコンクリートの人力取壊しを計上 ④その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
16	<p>参考図 9/17 工事工程表、回答10-4 CⅡ-B-L(H)の月当り進行長『50m/月』について 当社で進行長の算出を確認すると『51m/月』となるのですが、次に挙げる下記2点をご確認ご教示願います。 ①1m2当りのせん孔数 1.5孔/m2にて計算されていませんか。 正しくは1.2孔/m2ではないでしょうか。 ②一掘進長当りのロックボルト本数 13本/1.2mにて計算されていませんか。 正しくは15本/1.2mではないでしょうか。</p>	<p>1m2あたりのせん孔数は1.2孔/m2が正となり、一掘進長当たりのロックボルト本数は15本/1.2mとなります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>
17	<p>参考図 9/17 工事工程表、回答10-4 DⅢa(H)-2-Bの月当り進行長『47m/月』について 当社で進行長の算出を確認すると『46m/月』となるのですが、フォアポーリングの打設時間は『紛失・その他』の時間を算出する時に加算して計算するように土木積算基準に記載がございます。 月当り進行長『47m/月』は上記フォアポーリングの時間を計算式に加味された月進長なのではないでしょうか。</p>	<p>DⅢa(H)-2-Bの月進長は46m/月が正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>

番号	質問事項	回 答
18	<p>避難連絡坑の各数量について 現在の契約数値を確認したところコンサル成果の数量と合致しておりますが、『型枠』、『トンネル掘削』、『吹付けコンクリート』の数量について、数量計算書の『A-A断面』、『B-B断面』、『C-C断面』等の段毎の数量は『標準部』+『増加部』+『控除部』の計となっておりますが、『標準部』の数量に既に増加部分が加味されており更に『増加部』の数量を更に足されているため二重計上のように思われますが、契約数量に間違いはないでしょうか。</p>	<p>吹付コンクリートの数量は406.6m²が正となります。 後日公告図書を修正致します。</p>
19	<p>避難連絡坑の二期線側『トンネル掘削』数量について 現在の契約数値を確認したところコンサル成果の数量と合致しておりますが、数量計算書の『B-B断面』の標準部数量が『型枠』の数量を用いて算出された数量となっているように思えますが、契約数量に間違いはないでしょうか。</p>	<p>トンネル掘削C I - B - Sは122.7m³が正となります。 後日公告図書を修正致します。</p>
20	<p>数量明細表(7/10) 覆工防水工について 避難連絡坑の覆工防水の契約数量を確認すると、発破部の数量に対して機械掘削部の数量が少ない契約となっている一方で、機械掘削部の方が掘削延長は長いのですが覆工防水工の数量に間違いはないでしょうか。</p>	<p>避難連絡坑における覆工防水工はA (B) が160.1m²、A (K) が225.3m²が正となります。 後日公告図書を修正致します。</p>
21	<p>トンネル工 36/88 継目工Ⅲ型について 図面には、止水板Bの形状寸法「B=200」と表記されておりますが、継目工Ⅰ型と同様サイズの止水板を用いる事で積算されているのでしょうか。</p>	<p>止水板Bの形状寸法は「B=300」が正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>
22	<p>特記仕様書P12～14 単価公表について 『盛土工 A 1～4』、『裏込め工A』、『インバート埋戻し工』に使用する材料単価は、特記仕様書 17-1に記載がある仕様を満足する材料の単価公表を行って頂けるのでしょうか。 行って頂けない場合は単価引用先をご教示願います。</p>	<p>11月7日掲載済みの参考積算条件書をご確認ください。</p>

番号	質問事項	回答
23	<p>数量明細表(3/10) 型わくについて 型わくC(T)に、明かり部L=18m分の内型枠として『388m²』が計上されていると思われませんが、その数量根拠に使用されている型わく周長は『21.537m』です。 しかしながら隣接するDⅢa-(H)-3-Bの内型わく周長は『20.762m』にて計算されており内空断面に差が生じているような結果になっております。 どの図面を見ても内空断面の変化は見られないのですが、内型わく『388m²』に間違いはないでしょうか、また、明かり部L=18m分の内型わく数量は少数1位止めではなく整数止めの数量にて見積りを行えばよろしいのでしょうか。</p>	<p>型わくC(T)の数量については、坑門工の図面を参照ください。</p>
24	<p>トンネル工 29/88 補助工法について 補助工法一般図の縦断図には、DⅢa-(H)-2-B区間にも注入式長尺鋼管先受工、9m毎に鏡吹付けの記載がありますが、該当箇所は充填式フォアポーリングの区間と理解致しますが間違いないでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
25	<p>数量明細表(9/10) 注入式長尺鋼管先受工について 坑外から打設する長尺鋼管材料は掘削箇所に打設する事になっておりますが、坑内打設分と材料規格を変更されているのでしょうか。 公告資料から判断が出来ないため坑外打設部分の材料詳細規格の見積条件をご教示願います。</p>	<p>坑内打設と坑外打設で材料規格の変更はございません。</p>
26	<p>特記仕様書P5 10-2 冬期休止期間における作業 トンネル工事関連作業で、豪雪地域補正の対象となる工種・項目（コンクリート工、等）があれば、ご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
27	<p>特記仕様書P6 10-4 通行止め等による工事予定 予定日数5日間とは、通行止実施工事（計測工C・避難連絡坑防護工・仮設防護柵）の各々の設置～撤去日数であり、総日数は5日間×交通規制工4回＝20日間と考えて、よろしいでしょうか。</p>	<p>参考工程表をご確認ください。</p>
28	<p>特記仕様書P40 29-9 のり面保護網工 のり面保護網工の歩掛は土木工事積算基準に無いと思います。 この歩掛をご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
29	<p>特記仕様書P48 29-16 水質監視費 水質監視費には、調査諸経費率が考慮されるのでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回 答
30	<p>質疑回答⑩ 番号4 CⅡ-b (H)-2-B、CⅡ-B-L(H)、DⅠ-a(H)-2-B、DⅢa(H)-2-B、DⅢa(H)-3-Bの月進は、62、50、59、47、30m/月が正とあります。 しかし、20241009_交付図書の訂正の⑤参考図 9/17では、60、49、57、45、29m/月となっており、異なります。 正のサイクルタイムをご教授願います。</p>	<p>CⅡ-b (H)-2-B、CⅡ-B-L(H)、DⅠ-a(H)-2-B、DⅢa(H)-2-B、DⅢa(H)-3-Bの月進長は、62、51、59、46、30m/月が正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。</p>
31	<p>設計図（参考図）7/17において、避難連絡坑の割岩工法区間の余掘り厚が、土木工事積算基準34-8-2頁の機械掘削方式と同じ13cmとなっていることから、割岩工法区間の余吹き厚および余巻き厚も土木工事積算基準と同じ（余吹き厚7cm、余巻き厚6cm）と考えて良いでしょうか。 異なる場合は、割岩工法区間の余吹き厚および余巻き厚をご教示ください。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
32	<p>設計図（参考図）13/17の割岩掘削穿孔パターン図からCⅠ-K-S1およびCⅡ-K-S1のボアホール数とスリット数は確認できますが、CⅠ-K-S2およびCⅡ-K-S2のボアホール数とスリット数が分かりませんのでご教示下さい。</p>	<p>CⅠ-K-S1及びCⅡ-K-S1と同様です。</p>
33	<p>冬期割増料金が想定されている場合、冬期割増料金の対象となる覆工コンクリートの数量をご教示下さい。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
34	<p>ずり処理工A1について、鏡吹付コンクリートが施工されていない区間のトンネルずりは、昼夜関係なく、積替えを行わないで本線盛土箇所まで直接搬出するものと考えて良いでしょうか。</p>	<p>特記仕様書29-5-3ずり処理工に記載のとおりです。</p>
35	<p>ずり処理工A2における、新得地区ずり置場から本線盛土箇所までのずり運搬は、新得工事用道路を経由して運搬するのか、それとも経由せずに運搬するのか、いずれで想定されているのでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
36	<p>特記仕様書29-10地盤改良工で暫定セメント添加量が150kg/m³となっていますが、この150kg/m³はロス率を含んだ数量でしょうか、それともロス率を含まない数量でしょうか、ご教示ください。</p>	<p>暫定セメント添加量はロス率を含まない数量です。</p>
37	<p>設計図（トンネル工）29/88補助工法一般図の鏡吹付けコンクリート t=100 について、特記仕様書29-12注入式長尺鋼管先受工（7）支払に鏡吹付けコンクリートに関する記載が無いことから、鏡吹付けコンクリート t=100に要する費用の計上箇所が分かりません。 土木工事共通仕様書では、鏡吹付けコンクリートがトンネル掘削に含まれていることから、トンネル掘削DⅢa-3-Bの単価項目に計上するのでしょうか。 それとも、トンネル掘削DⅢa-3-Bの単価項目には鏡吹付けコンクリート t=100のうちの5cm分のみを計上し、増吹き分の5cmを注入式長尺鋼管先受工打設工の単価項目に計上するのでしょうか。</p>	<p>トンネル掘削DⅢa-3-Bに含みます。</p>

番号	質問事項	回答
38	工事用道路の維持補修に使用する散水車の1日当りの運転時間は何時間と想定しているのでしょうか、ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
39	インバート埋戻しの数量について、土木設計数量算出要領15-59頁に「施工数量は、中央配管および横断排水管を控除しない数量とする」と記載がありますが、購入する数量は、中央配管および横断排水管を控除しない数量と、控除した数量のいずれを想定されているのでしょうか。	中央配管及び横断排水管を控除しない数量を想定しております。
40	吹付プラント設備の冬期養生で使用するヒーターおよびボイラーについて、想定されている台数をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
41	濁水処理設備の冬季養生で使用する建屋について、どのような構造のものを想定されているのか分からないので、規格寸法をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
42	<p>構造物掘削の埋戻し数量 9/10付の質疑回答8で、次のように回答いただいております。 『終点側坑門工掘削の埋戻しについては、誤りがありましたので、金抜設計書、数量明細表（契約項目）を後日訂正致します。』 しかしながら、構造物掘削の埋戻し数量は金抜設計書や数量明細表では表示されず、訂正があるとすれば設計成果品の数量計算書だと思われま す。 正しい数量について、再度ご教示願います。</p>	坑門工の埋戻しは、構造物掘削及び客土掘削にて行います。 10月9日掲載済みの訂正公告をご確認ください。
43	<p>構造物掘削の埋戻し数量 9/10付の質疑回答9で、次のように回答いただいております。 『擁壁工の埋戻しについては、誤りがありましたので、金抜設計書、数量明細表（契約項目）を後日訂正致します。』 しかしながら、構造物掘削の埋戻し数量は金抜設計書や数量明細表では表示されず、訂正があるとすれば公告図面だと思われま す。 正しい数量について、再度ご教示願います。</p>	擁壁工の埋戻しは、構造物掘削及び客土掘削にて行います。 10月9日掲載済みの訂正公告をご確認ください。
44	<p>狩勝第二トンネル詳細設計 掘削サイクルタイム（終点側工区）表2-3 DⅢa (H) -3-B の掘削サイクルタイムに長尺鋼管フォアポーリングが含まれて います。 フォアポーリングは掘削サイクルタイムに含まないはずですが、本工事では掘削サイクルタイムに含む条件でしょうか。</p>	フォアポーリングは、掘削サイクルタイムに含めません。
45	<p>上記の場合、注入式長尺鋼管先受工の労力はトンネル掘削に含まれますが、特記仕様書29-12（7）支払に労力が含まれています。 注入式長尺鋼管先受工の労力は、どの単価項目にふくまれるのでしょうか。</p>	注入式長尺鋼管先受工に含みます。

番号	質問事項	回答
46	吹付けコンクリートA5について、設計厚5cmと20cmの施工なりますが、避難連絡坑の20cmの条件は積算基準にありません。歩掛り条件を公表願います。もしくは準拠資料をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
47	トンネル 51/88 横断排水工材料表の横断排水工Bについて C-a(H)-1-Bの掘削数量が1ヶ所当り「1.702m ³ 」と記載がありますが、「1.072m ³ 」の間違いではないでしょうか。	1.072m ³ が正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。
48	トンネル 48-51/88、数量明細表 8/10 横断排水工材料表の横断排水工Bについて 材料表の排水管の延長から算出すると「254.4m」となり、排水口詳細図(1)~(3)から読み取り算出すると、「242.0m」となります。排水管の各延長はどちらが正でしょうか。	242.0mが正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。
49	トンネル 48-51/88、数量明細表 8/10 横断排水工材料表の横断排水工Cについて 材料表の排水管の延長から算出すると「70.1m」となり、排水口詳細図(1)~(3)から読み取り算出すると、「64.1m」となります。排水管の各延長はどちらが正でしょうか。	64.1mが正となります。 11月8日掲載済みの訂正公告をご確認ください。
50	設計図(共通)4/4 土運搬経路図(2)について 図面の※マークに記載がある通り坑門部の埋戻し土の運搬時に使用する経路と理解しその他の盛土、埋戻し等の施工時には使用しない経路と理解致しますが間違いはないでしょうか。	ご認識の通りです。
51	型枠C(T)の支保工について、特記仕様書 P33 特記仕様書の型枠C(T)の備考欄に、支保工と記載がございますが坑門部のどの部分での使用を考慮されているのでしょうか、ご教示願います。	アーチ部の支保工です。
52	特記仕様書P36、37 ずり処理工について トンネル掘削ずりを本線盛土の盛土材として使用する場合、『小割、破碎』等の粒度調整が必要となりますが、当初よりその該当費用は計上頂いているのでしょうか、それとも変更協議しての設計変更のどちらとして見積もればよろしいのでしょうか。 見積条件をご教示願います。	トンネル掘削ずりを盛土材として使用するための小割、破碎等の粒度調整に必要な費用は含まれております。

番号	質問事項	回答
53	吹付設備費 割掛参考内訳書(3/5) 吹付設備費について 歩掛には鋼材の計上がございますが、該当鋼材の仮設材運搬費は考慮頂いていますでしょうか。 考慮頂いている場合はどの項目にて計上頂いているのかも併せてご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
54	吹付プラント冬期養生費 割掛参考内訳書(4/5) 吹付プラント冬期養生費の見積条件として『シート面積』をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。
55	汚濁水処理設備冬期養生費 割掛参考内訳書(4/5) 汚濁水処理設備冬期養生費の見積条件として『シート面積』をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。
56	仮囲い費 割掛参考内訳書(5/5) 仮囲いの設置期間はどのくらいとお考えでしょうか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。